

「美系優秀」のこれまでと、その先と。

「美系優秀」とは、2003年、2006年に文化フォーラム春日井で開催された、そしてこの12月に開催される学生“選抜”の展覧会のことです。春日井にほど近い愛知県内の三芸大・・・愛知県立芸術大学、名古屋芸術大学、名古屋造形大学の学生たちの中から、各大学の教員が選抜し、展覧会を行ってきました。しかし、これはただ単なる「選抜展」ではありません。それを示すのが、まさに展覧会タイトル「美系優秀」です。具体的には毎年のチラシ・ポスターにこう書かれています。

「ただし、先生から優秀と言われたとたんに、芸術家としての大切な芽を摘まれているかもしれないので注意されたい。」

なんとドキッとする言葉でしょうか。この言葉は、出品する学生と選抜した教員との間にも、それをオーガナイズする側にも、そしてこれらの作品を見に来られるお客さまにも緊張感を漂わせます。そして、この緊張感と経験が、次にどう転じるのか、を問うているのが、まさに展覧会そのもの、というわけです。「美系優秀」も今回で3回目。既に次は始まっています。

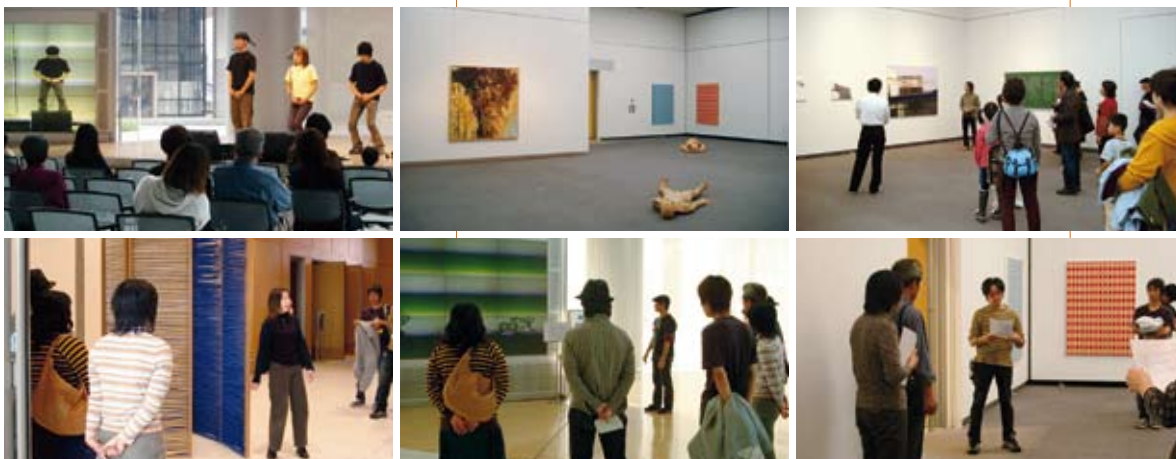


第1回

出品学生：計20組42名

有蘭康大、石黒祥子、大野陽子、大平隆文、岡本健児、尾田明子、小野綾香、加藤美春、金子絵理、刈部正臣、小瀧崇、近藤千草、セクシイ、高須健市、チャック the FIVE、西村佳子、長谷倫衣、村田仁、森岡佐知子、吉見公

デザイン：田中佑果



第2回



デザイン：西川拓也

出品学生：計22組23名

ベッキ中 (赤塚裕美子)・楊桂宋、石田典子、石田仁美、伊藤壽美、乾ももこ、柿栖早紀、勝翔子、河村のみ、北浦智恵、河面理栄、後藤恵理子、末竹杏奈、鋤柄ふくみ、辻井健太、長谷川智子、長谷川基子、服部敦、松澤章子、真峰英子、山田勝洋、山本仁美

